

CASE STUDY

ユーザー事例

運輸業

山九東南アジアホールディングス株式会社

イスのエンドポイントセキュリティ管理ツール。クラウドサービスで使用可能で、ユーザー企業に合わせて導入できる。

また、収集した情報から社内のセキュリティ状態を自動的に診断し、セキュリティレベルをダッシュボード画面に表示可能。管理者は、このダッシュボード画面を確認するだけで、現状のシステムがどうなっているのかが直感的に把握できる。管理コンソールなどを操作する必要がないため、管理・運用工数を大幅に削減することができるというわけだ。

「本業に集中できるようになる」 その高い導入効果とは

「KDDI Cloud Inventoryは日中英の3ヶ国語に対応しており、またクラウドベースで使用が可能で、通信インフラが脆弱な地域でも問題なく活用出来るため、当社のような統括会社が域内全体のIT管理を一元的に実施している企業には最適です。おかげ様で、各拠点が多大な時間を費やして実施してきた台帳作成業務やパソコン、スマートデバイスに関する社内セキュリティ診断を行う為の情報収集業務も不要になりました。また、社内業務アプリケーションプログラムの配布や、各種セキュリティパッチの適用など、配布に要する作業が自動化され、作業時間が大幅に短縮、さらには、その充実した配布機能のおかげでiOSやAndroid端末を活用した新しい業務ソリューションの提供も容易になり、本業に対する効果も出ています。

現地法人は、資産管理やセキュリティ管理を気にする事無く、それまで費やしていた時間を本業に割り当てられ、かつ今までに無い新しい付加価値が提供可能な業務ソリューションを享受出来る様になり、それが本業に於ける営業面にとってもプラスになっています。さまざまな用途に利用できるので、費用対効果が高いソリューションだと感じています」。

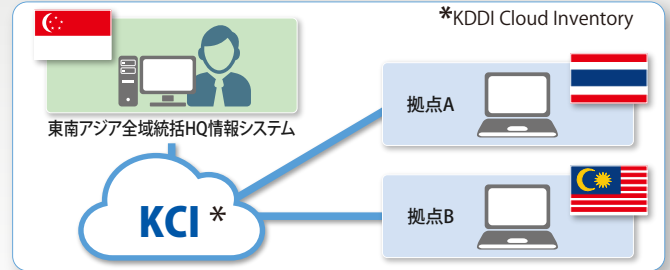
同社では、ITサポートデスク業務でもKDDI Cloud Inventoryを使用しているという。現場の作業員が見ている画面を共有できるため、原因の特定やその解決がスピーディーに行えるようになった。

新しい業務アプリケーションシステムの導入時などは、KDDI Cloud Inventoryをつかって操作方法などの指導も行っている。これまでは他社のインターネットリモコンソフトなどを使っていたが、今ではKDDI Cloud Inventoryのみで同様のことを実現した。

※記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

※製品の仕様は、都合により予告なく変更になることがあります。

©2016 QualitySoft Corporation. All rights reserved. ISM-201604



ソフトウェア辞書を使い リスクの高いアプリケーションの検出・制御も可能に

KDDI Cloud Inventoryにより、パソコンやスマートデバイスといった多くの端末を統一コンソールで管理できるようになった。またセキュリティの向上でもKDDI Cloud Inventoryは役立っているという。

OSやソフトウェアの脆弱性についても、KDDI Cloud Inventoryで管理できる。また、グレイネットソフトウェア辞書を使うことで、業務に不必要なアプリケーションの検出・起動制御などにも使用できるためセキュリティの向上に寄与している。

「これらのソフトウェアについて自力で調査・統制するのは難しく、非常に助かっています。当社のIT統制にとってKDDI Cloud Inventoryは欠かせないソリューションです」。

KDDI Cloud Inventoryを導入したことで、管理の質だけでなく、現場での生産性も向上したということだ。

インタビューの最後に、諸氏は「システム全体のセキュリティ向上においては入口や出口の各種対策も行いながら内部管理基盤としてEverest Cloud Inventoryを利用していますが、当社にはハンディバーコードターミナルなどの端末も数多くあります。現在はExcel上で管理していますが、これらの端末についてもパソコンやスマートデバイス同様KDDI Cloud Inventoryで一括管理できるようになり、配布機能も使えるようになれば更にありがたいです。」と語った。

KDDI Cloud Inventoryは、同社にとって欠かせないツールとなっている。広範囲に点在する国内外拠点のデバイス管理に課題のある企業は、この事例を参考にしてほしい。

※KDDI Cloud InventoryはクオリティソフトのISM CloudOneをKDDIのTELEHOUSEに寄せ、KDDIがサービスとして提供しています。

■ KDDI Cloud Inventory に関するお問い合わせは

URL : <https://global.kddi.com/ja/>

